

11 月号

2010(平成22)年
11月30日発行

SCHOOL
JURIDICAL PERSON
OSAKA
SANGYO
UNIVERSITY

学園ニューズレター
「ネオス」 No. 13

発行元：学校法人大阪産業大学
総合企画室 学園広報課
〒574-8530 大阪府大東市
中垣内3丁目1番1号
TEL：072-875-3001
<http://www.osaka-sandai.ac.jp>

祭 年 祭
2010
エコ大学祭

熱く自然を
愛せよ

■ 桐蔭高校吹奏楽部……02

■ 全日本コンクール高校の部 2年連続金賞

■ 第45回阪駒祭……04

■ 雨にも負けず最後まで盛大に

■ 特集……06

■ 大産大熱中人列伝

■ 第21回経済学部公開ゼミナール大会……08
25チームが「知のバトル」

■ キャリアセンター……09

■ 就職関連行事に出席を！ 他

■ 中学・高校トピックス……10

■ ニュース&トピックス……12

■ 中川晶のキャンパスセラピー・編集後記……16





桐蔭高吹奏楽部 全日本コンク 2年連続



表彰を受ける吹奏楽部員

第58回全日本吹奏楽コンクール高校の部は10月31日、東京都杉並区の普門館で開催され、大阪桐蔭高校吹奏楽部は昨年に続き金賞を受賞した。

同コンクールには、関西代表3校を含む29校の各地区代表校が出場。創部6年目の桐蔭高は2年連続4回目の出場だった。演奏は課題曲と自由曲の2曲で、金賞9校、銀賞12校、銅賞8校が決定した。

コンクールに向けての練習は6月から開始。課題曲と自由曲は吹奏楽部のカラーに合った曲を基準に選定を進め、沖縄民

謡の優しい旋律が特徴の「うちなーのていだ」を課題曲に、ヴェルディの「レクイエム」を自由曲に選んだ。8月の大阪府大会では、前年度全国大会金賞受賞校は特別演奏をする大会規定により、マーチングやポップス曲を披露。同29日の関西吹奏楽コンクール(京都会館)では、審査員から高評価を受けて金賞を受賞。「全



ール高校の部 金賞

日本」への出場が決まり、演奏の完成度をさらに高めていった。

今年のチームについて梅田隆司教諭・総監督は「昨年に続き優秀なメンバーがチームの牽引力となってくれた」といい、「練習では基礎力をつけることに注力した」と受賞理由を語った。

部長でパーカッションの富山泰葉さん(Ⅲ類3年)は「攻める演奏という自分たちの目標は達成できた」と笑顔を見せた。ホルンパートリーダーの佐々木舞さん(同)は「緊張したけど、会場を包む気持ちで吹いた。満足」と大会の感想を語っ



た。

会場には、多数の保護者や卒業生が駆けつけ、生徒たちの表現力豊かな演奏に惜しめない拍手を送った。大会翌日には、昨年は雨天中止となった東京ディズニー・吹奏楽フェスティバルに出演。スタンドプレイや振り付けなどの演出を交えて演奏した。

吹奏楽を志している者なら誰もが憧れる「吹奏楽の甲子園」普門館での連続金賞。これで「吹奏楽も桐蔭」のイメージが定着し、入学・入部希望者が増加するなど一層の充実発展が期待される。

速報

全日本マーチング コンテストでも金賞

吹奏楽部は9月23日、大阪市中央体育館で行われた関西マーチングコンテストで金賞を受賞。関西代表4校のうちの1校に選出され、第23回全日本マーチングコンテストに3年連続3回目の出場を果たした。全日本コンテストは大阪城ホールで11月21日開かれ、2年連続で金賞を受賞した。全日本吹奏楽コンクールとのダブル金賞も2年連続となった。



第45回阪駒祭

雨にも負けず最後まで盛大に
祭りを愛し自然を愛する、
エコ大学祭

大阪産業大学の大学祭『第45回阪駒祭』が10月29日から31日、中央キャンパス各所で開催された。大産大生や卒業生、保護者、地元住民や協力者、他大学の学生まで3日間で延べ1万3166人(大学祭実行委員会調べ)が来場し、工夫を凝らした多種多様なイベントや展示を満喫した。31日は前日の台風の影響で雨天となったが、それをものともしない熱気の中、会場には最後まで元気な声が響いていた。

内外の出演者が多彩な演技・演奏

地球環境問題が注目される中、今年の阪駒祭テーマは、「祭を制するものは自然を制す」。自然を愛し、自然を守る大切さを訴える気持ちを込めた。展示出展もエコ推進プロジェクトをはじめ環境保全に対する高い意識に基づくものが多く、「エコ学園祭」を掲げたゴミ減量やりサイク

ルなどの取り組みも強化された。

29日午前10時からの開会式に続く、吹奏楽演奏で開幕。体育館、多目的ホール、野外ステージ、中庭などの各会場で、学生有志やクラブ、サークル、外部から招いたタレントなどによる多彩な催しが開かれた。学内出演者によるイベントでは、体育会空手道部などが日ごろの鍛錬の成果を披露する「演武祭」、文化会演劇部の

劇団・我楽多の公演、2年生による企画「GIRLS CONTEST 2010」、1年生企画や「ラララミュージック」、文化会本部によるミニゲーム大会など、毎年おなじみの企画から斬新な新企画まで参観者を沸かせた。外部からの出演者によるイベントでは、プロの殺陣師グループ「大和乃侍・瓊蓮者(ろんれんじゃ)」による侍・忍者ショー、2009年R1グランプリ優勝のピン芸人・中山功太らによる「吉本無

参加者のコメント

工学部2年生の上田裕嗣さんの祖父・笹山高明さん「和歌山から来ました。こういう大学祭は初めてで、さっきはロボットのイベントで司会をしている孫を見て、普段とは違う、知らない一面を知ることができて良かったですね」

焼きそば模擬店で着ぐるみ姿で勧誘・長谷川昌大さん(3年生)「単車研究部です。うちの焼きそばは特注の太麺で好評です。今日の売り上げ分が黒字になりそうですね。僕がかぶっているのはガチャピン。自腹を切って買ってきました」

留学生フェスティバルに特別出演・谷綺花ちゃん(4歳)「踊り、好き。がんばる」お母さんの美紗子さん「大東市内の南津の辺から来ました。日舞の先生を通じてこのフェスティバルへの参加を誘っていただきました。今日は地域にちなんだ、野崎参り踊りを踊ります」

実行委員で有料ライブ企画担当・丸岡駿平さん(2年生)「何か大きなことがしたくて実行委員会に参加しました。皆に喜んでもらえるような企画を考えないといけないので、その点が辛かったです。何とか成功できたと思います」

茶道部お点前席の受付を担当・林駿弥さん(3年

生)「阪駒祭でのお点前は部としても力を入れていて、おもに外部からのお客様に楽しんでもらっています。オープンキャンパスでもやっているの、騒がしいのは慣れますね」

実行委員で管理電気担当・田中梨恵子さん(2年生)「委員会と聞くと堅苦しそうだし、仕事は責任を持ってきちんとやりますが、それ以外は皆、楽しくやっています。一度、学祭本番を経験すると面白くてやめられなくなりますね」

クリエイティブセンターの紹介展示とナンとカレーの模擬店・岩崎高大さん(2年生)「去年まではミニ四駆のレースをしていたのですが、今年は事情で

大学祭を楽しむ学生たち



料ライブ」が賑やかに開催。そして、今年の目玉は、デビュー4カ月でNHK紅白歌合戦に出場を果たしたという伝説の3人組ユニット「GIRL NEXT DOOR」。30日午後6時には、会場の体育館は学生などで超満員となり、その歌声とサウンドに酔った。

留学生フェスティバルもさらにパワーアップ

今年で3回目を迎えた「留学生フェスティバル」も、おおいに盛り上がった。中国・天津理工大学からの交換留学生らによる扇を使った中国伝統舞踊、タイの留学生によるタイ民族舞踊、ドイツ人留学生のピアノ演奏と中国人留学生や韓国人留学生の歌、中国人留学生とミャンマー人留学生によるチャイナドレスショーな

ど、民族色豊かな演目が目白押し。日本からも、大東市立四条北小学校の和太鼓クラブによる和太鼓演奏や地元・大東市の子どもたちの野崎小唄踊り普及会が特別出演し、世界と日本の交流を深めた。同じく特別出演の韓国舞踊団「柳会(ボドルフェ)」の皆さんが、舞台狭しと韓国伝統の農楽を披露すると場内のムードは最高潮に。フィナーレは、出演者も観客も全員で「世界に一つだけの花」を歌い、フェスティバルのテーマである「絆」を確かめ合った。

最終日の31日は、ダンスパーティの会場が体育館になるなど、雨のため、一部予定が変更された。しかし、阪駒祭実行委員会委員長の3年生の山瀬智和さんが、「台風通過後の開催になるので、1週間前に雨天時の対応マニュアルを用意して、

備えました。雨になりましたが、ほぼ順調に実施できました」という通り、準備は周到で最後まで混乱もなく進行した。そして、閉会式だけは、雨天なら体育館でという予定を取りやめ、あえて中庭で執行。山瀬委員長が「最終日はあいにくの雨でしたが、体育館でのダンスパーティも大変盛り上がり嬉しく思います。第45回阪駒祭が無事開催できたのは、大学関係者を始めとする皆様のご協力とご支援のお蔭と心から感謝します」と謝辞を述べたのに続き、大学を代表して学生部長の大槻伸吾教授が「雨の中、最後までこうして多くの人が残ってくれていることを嬉しく思います。今日のこの充実感を忘れず、明日からまた、学業やその他の活動に、全力で取り組みましょう」と学生諸君の奮闘を讃えた。

できなくなり、模擬店と活動紹介展示の両方をやっています。モノづくりプラス販売も学ぼうということですね」

留学生フェスティバルの裏方兼出演ダンサー・鄭永健(テイ・エイケン)さん(中国吉林省出身の3年生)「中・日の間には今、問題もありますが、隣国同士、時にはケンカをしても、長い付き合いをしていくもの。僕らは子どもじゃないですから、これも人生の良い経験だと思います」

女子ソフトボール部の焼き鳥模擬店・石井友里さん(1年生)「私たちの部は今年発足したばかりで全員1年生。活動費も少ないのでバット1本でも買

えるようにと模擬店に挑戦しました。初体験ですが、3日目になるともうスイスイです」

森・川・田んぼプロジェクト・尾藤尚侍さん(1年生)「準備は大変でしたが、多くの人に活動を知ってもらうのが大切なことなので頑張りました。お子さんたちには興味を持ってもらってます。自分の勉強にもなりますね」

森・川・田んぼプロジェクトの展示水槽を見ていた小学4年生の赤堀有望さん、2年生の綾香さん「学校ではまだ生き物のことは勉強してません。でも、うちではドジョウとか金魚とか亀とか飼っています。これまで見た中では、鉄道の模型が走っ

ているのが面白かったです」

大学OBの赤堀博則さん(1989年入学)「今日は羽曳野市から来ました。阪駒祭に来るのは卒業後、3度目。子どもに自分の出身大学を見せて、大学というのがどういうところか教えようと思って連れてきました」

留学生フェスティバル特別出演 韓国舞踊「柳会」代表・高茂成(コウ・ムソン)さん「対馬からは釜山が見えます。日本と韓国は、近くて近い国。65年かけて、今や世界中がうらやむ仲の良い間柄になりました。この留学生フェスティバルも素晴らしいですね」

大産大



列伝

誰もがそれぞれの夢と希望を持ち、日々悩み、苦しみながらも、懸命の努力を続ける大産大の学生たち。なかでもユニークな活動に取り組み、熱中する人たちに、そのやり甲斐や将来について聞いた。



山田翔大さん

人間環境学部
生活環境学科3年

幼稚園の頃、園庭で大きなアリと小さなアリが戦っているのを見て興味を持ち、それからムシの世界への関心が膨らみました。小2の時に『ファール昆虫記』の読書感想文を書き、3年の時にパソコン授業で昆虫採集ゲームにはまって、昆虫にのめり込み始めたんです。生まれ育った伊賀上野は自然も豊かでしたから、網と虫かごを持ってムシ取りに励みました。

中学生になり、カメラマンの父から「お前も何か写真を撮ってみろ」と使い切りカメラを持たされて撮ったのも、やっぱりムシでしたね。近くの山でトンボやバッタを捕まえては、その場で撮影です。次にコンパクトカメラを買ってもらい、父から誉められるような写真も撮れるようになりました。高校では写真部に入り、一眼レフに。カマキリがトンボを襲うシーンなんかをものにしましたね。

ムシに魅せられ

その頃になると、ムシから環境を考えると意識も出てきました。たとえば、絶滅危惧種のタガメは生息地を見つけ出すこと自体、難しいんですね。僕の昆虫好きは高校でも有名で、ある時、事務職員の人から水生昆虫の判定を頼まれたんです。珍しいシマゲンゴロウで、その人の無農薬栽培の田んぼにお邪魔すると水生昆虫の楽園でした。水中を仰向けに泳いで他のムシを捕まえるので“水中のハンター”と呼ばれるマツモムシもいまし

た。僕はそこに通い詰めて、タガメやタイコウチ、ミズカマキリなど珍しい水生昆虫を撮影しました。

大学では「森・川・田んぼ」と「エコ推進」という二つのプロジェクト共有に参加して、「森・川・田んぼ」ではプロジェクトリーダーと生態系班のリーダーをしています。生駒キャンパスの室池園地や深北緑地、野崎観音などでの観察を通して、外来生物の在来生物への影響を考えたり、在来生態系の復元方法を検討したりしています。「エコ推進」では、大産大キャンパスの横を流れる鍋田川の清掃や生き物の住める環境作りに取り組んでいます。自分のムシ好きでは、撮影した昆虫の写真にコメントをつけて、簡易製本で私製の昆虫図鑑にすることも始めました。今、3冊目までできています。

将来は教員として子どもたちに環境問題を教えたいのですが、それには理科系の教員免許があるほうがいい。今は社会科の教職課程を取っていますが、卒業後、別の大学で理系免許を取ろうと思っています。



プロジェクトポスター



奈良県明日香村での田植え



赤木優美さん

人間環境学部
スポーツ健康学科3年

スポーツ医学を学びたい学生が勉強する「スポーツ医学を考える会」で活動しています。内容は、運動中の呼気の成分などを測定・分析してその人の運動機能向上のためのトレーニング処方を考える、といったものです。私は、生活習慣病の方や高齢者などを対象にしています。生活習慣病の方も無理なく継続でき、効果

運動で健康づくり



病院でのリハビリ運動

的な運動メニューを考えるんです。

もともと病院で働きたかったんです。祖母が脳機能障害による運動障害を持っていて、そのリハビリに付き添う中で理学療法士の仕事に憧れ、自分も同じような仕事に就ければいいなど。一方で、高校から続けている少林寺拳法では、全国大会の女子初段、型の部で優勝もしました。そういうクラブ活動をしながら、将来の夢を実現したいなら、と先生に教えられてこの会に参加しました。

健康運動実践指導者の資格を取って、

将来は、病院やトレーニング施設で働きたいと思っています。最近、この資格で運動指導の仕事をしている方は増えているんですよ。たとえば、糖尿病がみだから運動するようにと指示されても、ご本人はどんな運動をどのようにすればいいかわからないし、一人で続けるのは難しい場合も多いですからね。私は京橋にあるクリニックと、関西医科大学病院の健康科学センターで週に1度、実習をしています。クリニックでは4時間、関西医科大学のセンターでは一日中です。糖尿病の方と心臓疾患を持っている方の指導が中心です。

心電図の読み取り方など、まだまだ難しいこともあります。体重が少し減りましたとか、運動が上手にできるようになりましたとか言ってもらえると、本当にうれしいです。

澤田悠樹さん

人間環境学部
文化環境学科4年

松竹芸能タレントスクールに所属して、「みきり発車」の澤田と須藤という漫才コンビで活動してます。僕はボケです。

2年の時にアルバイト先で知り合った佛教大学の学生とM-1グランプリに出ました。初挑戦で1回戦を突破できたんです。2回戦は案の定ダメでしたけど。3年の時の再挑戦は、1回戦突破も果たせませんでした。その後、4年になる直前に、松竹芸能が主催する「未来のスターを探せ」というイベントで、タレントスクールに入らないかと誘われました。僕らはせっかく与えられた挑戦の機会だと思って、お世話になることにしたんです。

三重県名張市の出身ですが、大学には奈良市の祖父の家から通ってました。その祖父に話すと、「え？」と。うちは明るい家族で、祖父も「ワシはお前に寿命を縮められてるわ」と言うような人ですけ

「ホンキでみきり発車」



ど、「4年間、面倒見てきて、それか？」みたいな驚きようでした。両親もびっくりしてましたが、それでも、やるなら頑張れと言ってくれたんです。

この4月から2年間の予定でタレントスクールでの修行を始めたのですが、7月にそれまでの相方が自分の限界を悟ってやめると言い出しました。4月に50組以上が入学したスクールでも、今残っているのは15組ほどで、お笑いは厳しい世界です。なので、無理に相方を引き止めず、以前からスクールにいて相方を探してい

た須藤と組むことにしたんです。

彼は27歳で、月収8万円のアルバイト生活。そんなことをネタにしながらの漫才ですね。相方は、アイスクャンデーのガリガリ君に似ていて、それがひとつのウリですが、「お前、月収8万円ならギリギリ君やないか」みたいなね。僕も、今は親のスネかじりですが、今後は自立しないといけません。ギャグひとつ考え出すのに何日も苦しむ仕事ですが、絶対に今年中にテレビに出るぞと密かに目標を立てて、全力で頑張っています。

25チームが「知のバトル」 第21回経済学部公開ゼミナール大会

大学祭開催中の10月29日、本館では第21回経済学部公開ゼミナール大会が開催された。会場には、模擬店の売り声などが響き渡るキャンパス戸外とは異なる熱気が立ちこめた。

世界を揺るがしたギリシャ危機を分析

経済学部の3回生が日頃の勉強の成果を披露する公開ゼミは、2名以上でチームを組み、自分達でテーマを選択して研究をまとめ、発表する。午前に予選、午後に決勝があり、研究の着眼点や内容の完成度、発表のわかりやすさなどで順位を競う。公開ゼミというイベントの準備や運営そのものも学生が担う。今年は25チームが出場し、予選各組上位の計8チームが決勝に進出した。

優勝したのは、「世界経済を揺るがすギリシャ危機」をテーマに発表した、新保博彦ゼミの金田隆司さん(国際経済学科3年)と梁佳維さん(同)のチーム。2009年秋に勃発した、ギリシャ政府の財政破綻問題とそれに端を発したユーロの暴落について、背景や原因を分析した上で、ギリシャ政府や欧州委員会の対策、国際通貨基金の支援策などをまとめた。

金田さんらは、ギリシャ政府財政における赤字隠しの「粉飾決算」や、ギリシャが欧州共同体に加盟する基準を満たしていなかったという事実、現役時収入の90%以上を保証する異常な公的年金給付率、ギリシャ政府債券が紙屑同然になるかも知れないという危機、国の経済力の違いを無視してユーロという共通通貨を導入したことの構造的欠陥などを指摘。欧州には、他にもギリシャと類似する財政状態の国があり、欧州共同体や国際通貨基金などが、それらの国の財政をしつかり監視して行かねばならないと訴えた。金田さんは、「新保ゼミの中ではどの

チームよりも実質的なスタートが遅れ、しかもメンバー2人というのも最少で、研究や発表準備は厳しかったです。大会間近になると毎日、夜の10時まで、喉がガラガラになるほど喋る練習をしたり、パワーポイント操作の確認を繰り返したりしました。優勝できたのは、時間配分も考えてプレゼン練習を徹底的にやったこと、正確性を重視して丁寧に資料を調べ尽くしたことだと思っています」と、苦労と喜びを語った。梁さんも、「テーマが難しいことももちろんでしたが、私の場合、分担した調査結果を日本語でまとめるということに困難がありました。絶対に優勝するつもりでしたから、そのために必要なことは徹底してやりました。この研究に取り組み始めたころと比べると、日本語の能力もかなり向上したと思います」と話した。

モノづくり企業の多国籍化や消費税の重要性

2位には、「世界二輪車市場と日本メーカー」をテーマに発表した、竹内常善ゼミの角祐太代表らのチームが選ばれた。人件費の安い海外に工場が移転し、日本のモノづくりの危機が指摘される現状に注目。日本の二輪車メーカーを例に、生き延びる手段としてのグローバル展開について考察を展開。モノづくり企業の多

経済学部公開ゼミナールで優勝した新保ゼミの金田隆司さん(左)と梁佳維さん



国籍化は避けられないと結論づけた。

3位は、「消費税の制度・仕組み」について発表した、戸谷裕之ゼミの河野洋輝代表らのチーム。世界における消費税・売上税・付加価値税などの歴史、消費税後発国である日本での消費税導入の経緯を説明した上で、日本の消費税が抱える問題点を整理・分析。経済低迷や財政問題などを解決するためにも、他の税制や社会政策を含めた政策ミックスの手法で消費税を考えていくべきだと述べた。

上位は大接戦

審査結果の発表で、岡本哲朗審査委員長は「評価として10点もの差がないというケースもあった」と接戦ぶりを述べた。最後の講評で小川一仁審査委員は、「1位チームと2位チームはほんとうに僅差。今回のテーマをもとに卒論に取り組む人もいると思うが、今後は内容の充実にも努めてほしい。最後に効いてくるのは『化粧』ではなく『地金』だということを認識して頑張ってもらいたい」と学生らを激励した。

2010年度公開ゼミナール決勝大会 結果

審査員：加藤道也、齋藤立滋、戸谷裕之、新保博彦、小川一仁、岡本哲朗

1位	新 保ゼミ	金田隆司代表	世界経済を揺るがすギリシャ危機
2位	竹 内ゼミ	角祐太 代表	世界の二輪車市場と日本メーカー
3位	戸 谷ゼミ	河野洋輝代表	消費税の制度・仕組み System of Consumption Tax
4位	新 保ゼミ	田中裕人代表	日本経済に元気を与えるペット達
5位	新 保ゼミ	藤田真也代表	世界の高速度鉄道の発展
6位	齋藤立ゼミ	桐嶋相現代表	年金改革がなぜ必要なのか
7位	新 保ゼミ	楊更強 代表	中国における介護ビジネスの可能性
8位	齋藤立ゼミ	藤林寛士代表	なぜ北欧の福祉は成功しているのか

就職関連行事に出席を！

2012年3月卒業予定者対象

学内・学外にて2012年3月卒業予定者対象の就職関連行事が開催されています。本学でもすでに、就職ガイダンス、SPI対策講座、一般常識試験対策講座、面接対策等の行事を開催しました。引き続き就職関連行事を開催しますので、必ず出席するようにしてください。また、自己分析は非常に重要な事項です。自己分析ができないと、履歴書・エントリーシートの記入ができません。面接で答えることが出来ないということになりますので、必ず対策をしておいてください。

- 11月＝業界研究セミナー
 - 12月＝公務員セミナー、自動車産業セミナー
 - 2011年1月～3月＝個別面談(学科単位)、学内合同企業説明会、学科ガイダンス、筆記試験対策、面接対策
- ※詳細事項は、キャリアセンターのホームページでご確認ください。

2011年3月卒業予定者対象 キャリアカウンセラーの 相談を延長

2011年3月まで、キャリアカウンセラーの相談を延長します。就職活動に悩んでいる学生はこの機会にご利用ください。

卒業生社長との懇談会開催

10月30日に2回目となる卒業生社長との懇談会および懇親会を16号館2Fで開催した。卒業生社長の出席者は12社13名(うち1名は専務取締役)で、大学側からは本山美彦学長、喜多見洋副学長、常盤欣一朗副学長、美内照男校友会会長が出席した。懇談会では、学長挨拶、校友会長挨拶、キャリアセンター長から現状報告と求人依頼・講演会依頼の後、卒業生社長の紹介を行い、その後、最近の学生像についての意見交換を行った。懇親会は同じ会場で、和やかな雰囲気で開催された。当日は、大学主催のホームカミングデーと学園祭も開催していた。

また、キャリアセンターでは、2011年2月17、18日に2012年3月卒業生予定者を対象に卒業生社長の講演会を実施する予定。

インターンシップで大きく成長

夏季インターンシップの報告会が10月27日、多目的ホールで行われた。実習生45名が出席し、また、来年度インターンシップ対象学年となる2年生48名も参加した。

今年度の夏季インターンシップは、3月25日に新3年生、4月2日に3年編入生・大学院生対象の説明会をそれぞれ行い、計468名が参加した。最終申し込み人数は128名。その後の教員面接を経て、123名がマッチングへ進んだ。事前学習でインターンシップの基礎、マナー、保険の手続きについて学び、実習当日には96名が参加した。

受け入れ企業・事業所は74社。実習は夏季休暇中の1～2週間に行われ、無事終了した。休暇が終わると、参加者全員がキャリアセンターに元気な顔を見せてくれた。レポートには、本人と企業のコメントがびっしりと書き込まれており、学生、事業所などの熱意が伝わってきた。企業側コメントには「このまま採用してみたい」

というありがたいものもあった。

報告会では、企業や教員、学生の各代表がパネルディスカッションを行い、聴衆の2年生からは「わかりやすい」「自分も来年の夏実習にぜひ参加したい」などの意見が聞かれた。また、実習修了者2名が体験発表を行った。最後は、報告会に参加した実習生全員で記念撮影をして締めくくった。



インターンシップ先での活動



大産大附属中学・高校

天高く、文化とスポーツの秋

高校



産大高校の「梧桐祭」が9月26日に、「体育祭」が10月1日に、両日とも晴天に恵まれて開催された。

今年で64回目を迎える梧桐祭は、演劇部、鉄道研究部、書道部、茶華道部、イラストレーション・コンピューター部、E.S.S部など文化部が中心となって日ごろの積み重ねの成果を力いっぱい表現した。川西貴也生徒会長の挨拶でスタートしたステージも、軽音楽部、吹奏楽部の生演奏、恒例の生徒会クイズ、チアリーディングやダンス部による表現、各クラス趣向を凝らしたダンスや演劇やパフォーマンスに惜しめない拍手が送られた。人だかりの模擬店。地域の人たちにも心待ちにされている梧桐祭名物、後援会による

バザー也大盛況だった。

体育祭は、7団に分かれ50・100・200・1000m競走、リレー、ロープ引き、障害物リレーと、それぞれ力とチームワークを競い合った。決勝の学級対抗リレーでは教員チームが急きょ編成され、喝采を博した。2年生女子による軽やかな創作ダンス、集中力と団結力とバランス感覚の極致であるPコース全員参加の棒体操に感動の渦がグラウンドいっぱいに広がった。決勝の綱引きと名物産大高リレーで最高潮に達した今年の体育祭は、産大高生の胸に声援と喚声と共に忘れられない記憶の1ページとなったと思われる。



小雨の中で熱く楽しく

中学



雨天のため順延されていた産大中学体育祭が10月3日に行われた。今年度の体育祭は高校との合同ではなく、中学校のみで開催された。

入場行進に続き、国旗・校旗の掲揚、平岡伸一郎校長の挨拶、後援会長の祝辞の後、3年2組の廣井司君の力強い選手宣誓で熱戦の火ぶたが切られた。50m競走を皮切りに、ロープ引き、100m競走、障害物リレー、200m競走と実施された。

途中から降り始めた雨の影響で、プログラムの変更もあったが、予定されていた種目はすべて実施することができた。小雨降る中、女子のダンスと男子の組体操の見事な演技には、惜しめない拍手が送られた。また、保護者参加の綱引きや保護者チームのリレー、親子二人三脚では大いに盛り上がった。生徒・保護者・教職員が一体となったとても楽しい体育祭だった。

Jr. デビス杯で日本V

内田君が大活躍

高校



9月28日から10月3日までメキシコで開催されたジュニアデビスカップ世界大会において、産大高校スポーツコース1年生内田海智君が代表選手として参加した日本チームが、見事初優勝を果たした。内田君は1次リーグから決勝トーナメントまで、出場したシングルスすべてにおいて勝利し、日本チームを優勝に導く原動力となった。内田君は「高地の環境に慣れるのが大変でした。最初で最後の出場なので、歴史に残るものだと思います」と喜びを語った。

世界の将来有望な選手が集うこの大会で活躍できたことは選手本人にも大きな自信となり、今後のさらなる活躍が期待される。

内田君の試合結果

決勝 (10/3)

日本 2-0 カナダ

○内田海智 6-2 6-3 PELIWO, Filip

準決勝 (10/2)

日本 2-1 フランス

○内田 6-1 6-0 BOURGUE Mathias

○守谷総一郎/内田 6-4 6-2 BOURGUE Mathias / LOKOLI Laurent

ラウンドロビン：グループB

9/30 日本 2-1 チリ

○内田 6-4 6-4 GALLEGUILLOS Jaime

○河内一真/内田 6-3 6-1 NUNEZ Guillermo/ ENCINAS, Rodrigo

9/29 日本 3-0 セルビア

○内田 7-6(6) 6-1 KRSTIN Pedja

○守谷/内田 6-2 6-1 DJERE Laslo/TOMIC Petar

9/28 日本 2-1 メキシコ

○内田 6-3 6-3 PILATUNA Luis

○河内 / 内田 6-0 6-2 MAYAGOITIA Ricardo/ PILATUNA Luis

大阪桐蔭中学・高校

これが私たちの改革!!

——文化祭 高校・中学

大阪桐蔭中学校・高等学校の文化祭が、11月3日の文化の日に大阪桐蔭本館を会場にして行われた。今年の文化祭のテーマは「Toin Revolution」。現状をよりよく変革して行くために桐蔭生が力を合わせて取り組もうとの意味が込められている。「総合学習」の時間を活用して行われているプロジェクトワークや文化系クラブを中心に、展示や発表を行い、活動内容を紹介した。生徒の家族をはじめ多くの来場者があり、模擬店も終了の午後3時までに売り切れの店舗が出るほどで、

会場はさわやかな秋晴れのもと楽しく賑やかな雰囲気にも包まれた。また大阪桐蔭の保護者会である桐友会が主催する恒例のバザーには、朝早くから長蛇の列ができ、カレーショップとともに今年も大盛況であった。



箏曲部による演奏会



茶道部によるお茶会



桐友会企画・バザー



プロジェクトワーク
模擬裁判

秋季近畿大会2連覇

——硬式野球部 高校

硬式野球部は、「秋季近畿地区高校野球大会大阪府予選」に出場し、10月17日に舞洲球場での履正社との決勝戦で6-4とサヨナラ勝ちして2連覇を成し遂げた。

3-4と1点を勝ち越されたまま迎えた9回2アウトから山足が二塁打を打ち、中野が内野安打で1点を返し同点となる。続く西田がライトオーバーのツーランホームランで、サヨナラ勝ちを取めた。

近畿大会では、初戦で加古川北高(兵庫県)に0-2で惜しくも敗れた。

江村君、ロツテが5位指名



今秋のプロ野球ドラフト会議では、捕手の江村直也君=写真中央=が千葉ロッテマリーンズから5位指名を受けた。江村君は右投右打、遠投120㍎、二塁送球は1.8秒台の強肩を誇る。プロ野球では現在、埼玉西武ライオンズの中村剛也選手、阪神タイガースの岩田稔選手、来季メジャーリーグに挑戦する西岡剛選手をはじめ、大阪桐蔭高校出身者が多数活躍している。

クラブ活動の記録(高校)

■硬式野球部

○秋季近畿地区大会大阪府予選(9/4~10/17舞洲他)1回戦18-1泉陽(5回コールド)、2回戦16-0追手門学院(5回コールド)、3回戦10-3刀根山(7回コールド)、4回戦11-0久米田(5回コールド)、5回戦8-1金光大阪(7回コールド)、準々決勝8-2初芝立命館、準決勝9-2PL学園、決勝6-4履正社=府予選優勝○秋季近畿地区大会(10/23~和歌山・紀三井寺)1回戦0-2加古川北(兵庫)

■男子サッカー部

○大阪高校総体兼全国高校選手権大阪大会(10/17~堺ナショナルトレセン)5回戦14-0春日丘、6回戦1-4阪

南大高=ベスト16

■ゴルフ部

○大阪私学総体ゴルフの部(9/22大阪GC)男子11位：高子風順(75)、女子2位：守随麻衣(79)

■日本拳法部

○大阪総体個人の部(8/29豊中市・ひびき)女子準優勝：高橋美樹(2年)、3位：吉田璃利子(2年)○全日本総合選手権(9/19大阪市中央体育館)高校男子個人ベスト16：榊原亮(3年)、高校女子個人ベスト8：高橋美樹、吉田璃利子○大阪府私立中学校高等学校総体(9/23はびきのコロセアム)高校男子団体：2回戦2-1長尾谷、準決勝0-5東大阪大柏原、高校女子団体(総当たり)①2

-0大商大堺②2-0初芝立命館③3-0関西大第一=優勝、高校1年男子団体決勝1-3大阪、中学2年個人準優勝：原良宜○西日本高校選手権(11/3奈良市中央第二武道場)女子団体予選(総当たり)Aブロック①2-1大商大堺②2-0大淀(奈良)=Aブロック1位、決勝大会進出

■女子サッカー部

○全日本ユース(U-18)選手権(10/30~11/6堺ナショナルトレセン他)1回戦8-0高田FCソフィア・テ・イアフ・ロッサ、準決勝7-1宝塚エルハ・イレ・LFC、決勝4-0京都精華女子高=優勝、全国大会初出場

4季ぶり7度目の1部リーグ制覇

バレーボール部

●関西大学バレーボール連盟1部リーグ戦の決勝リーグ3試合目が10月24日、龍谷大で行われ、体育会バレーボール部は8勝1敗で並ぶ大阪商業大をセットカウント3-1で破り、4季ぶり7度目の優勝を果たした。

最終戦のスターティングメンバーは、浜迫裕嗣、山本恭平、西尾直樹、岡田康太、衛藤英興、梁佳維、リベロ早瀬川雄也。セットカウント2-1でリードして迎えた第4セット。中盤に岡田のサーブポイントで試合は動き、ピンチサーバー佐藤陵のサーブポイントで5点リード。最後は岡田のスパイクで勝負を決めた。主将の浜迫選手は「チーム一丸で優勝できて何よりでした。12月の全国大会ではベスト8を目指します」と語った。

大阪産業大 3 $\begin{pmatrix} 25-20 \\ 22-25 \\ 25-22 \\ 25-23 \end{pmatrix}$ 1 大阪商業大

◆個人賞◆
 最優秀選手賞 浜迫裕嗣
 ブロック賞 山本恭平
 セッター賞 西尾直樹
 リベロ賞 早瀬川雄也
 最優秀監督賞 澤井亨



白熱した試合が続いた

喜ぶ澤井監督



「いのちの大切さ」 学生生活講演会

●2010年度学生生活講演会が10月20日、本館1階多目的ホールで、長野県松本市の神宮寺住職の高橋卓志氏を講師に招き、「いのちの大切さ」をテーマに開催された。

2005年4月25日のJR福知山線の脱線事故で本学の学生2人が犠牲になり、そのメモリアルデーに「いのちの大切さ」を学ぶ講演会を5年にわたり実施してきた。また、今年も不慮の事故で2人の学生が尊い命を失っている。仏僧であり現代社会の苦悩と向き合い精力的に社会運動に取り組んでいる高橋氏に、自身の生き方を通して「生きる意味」と「勇気」を伝えてもらった。

生と向き合い、死と向き合う

人は、生まれた瞬間 Welcome と耳元で祝福され、社会に受け入れられる。生まれてから老い、そして病を患い、死へと繋がる。生から死を考える流れと、死から生を考える方法がある。死にも、病を患い死を考える時間のある者と、9.11テロや阪神淡路大震災、JR福知山線事故のように突然遭遇する死がある。

ニューギニアのビアク島へ戦没者の遺骨収集に行ったとき、モクメル洞窟を訪れ、自分の足の下に1000人の日本兵が焼き殺され、未だに遺骨が残っていることを知り、死と向き合うようになった。ウクライナのチェルノブイリ原発事故やタイのロブリーでのHIV患者への救済活動などを通じ人の死に対しての苦しみを観てきた。「生きる意味」「生きる希望」「生きるささえ」を考えなければならない。人は38億年前からのDNAを受け継いでいる。

自分自身がしっかりと命に向き合って、どのように世の中を生きていかなければいけないのか。また、自分の中で命を絶とうという思いが生まれてきたとき、相手を傷つけようとこぶしを握ったときには、生まれた時に耳元で聞かされた『Welcome』が響いてくることを頭の片隅において欲しい。



軽快な走行を見せる OSU Racing

全種目完走、総合15位にジャンプアップ！

第8回全日本学生フォーミュラ

●第8回全日本学生フォーミュラ大会が9月7日から5日間、静岡・小笠山総合運動公園で開かれ、本学 OSU Racing も4年連続で出場した。

エントリーは85チーム。「デザインレポート・デザインスペックシート」の書類審査を通過した日本・中国・ロシア・韓国などの75チームが大会に臨んだ。



この大会は米国 SAE (Society of Automotive Engineers Inc.) のルールに準拠して開催されるもので、企画・設計・製作した小型フォーミュラスタイルの車両を持ち寄り、車両コンセプト、設計、コスト分析、販売プロセスのプレゼンテーションを競い、安全性に関する車両検査を厳格に行い、加速性能、コーナリング、短距離・長距離の走行性能、耐久性、燃費を競う。

OSU Racing は1日目と2日目に車検(技術車検、ノイズ、重量、ブレーキ)を無事に通過、プレゼンテーション審査、コスト・デザイン審査も終わることができた。2日目



から台風の影響を受け、スケジュールが大きく変動したが、上手く切り抜けることができた。3日目は動的審査のアクセラレーション(0~75km/hの加速性能)、スキッドパッド(8の字コーナリング)、午後になりオートクロス(ショートコースでの走行性能)、排ガスを測定。4日目はエンデュランス(約22kmのコースで走行性能、耐久性、燃費)を競った。結果は総合15位。昨年の31位から大きく飛躍することができた。今年も全種目完走を果たし、3年連続で完走を達成した。

クロスワードパズル

QUOカードが
当たる！

縦のヒントと横のヒントを参考に空白のマスにひらがなを入れ、クロスワードを完成させましょう。「カギ」の4文字で、言葉を作ってください。正解者には、抽選で50名に景品(QUOカード)を用意しています。応募資格は、大阪産業大学(大学院含む)、同短期大学の学生および大阪産業大学附属中学・高等学校、大阪桐蔭中学・高等学校の生徒に限ります。解けた方は、大学・短大は、本館1階の学生部、4号館2階の工学部事務室、3号館1階の短大事務室など学内10カ所に、産大中・高と桐蔭中・高は、事務室に設置しているクロスワードパズル投函箱に入れてください。発表は、景品発送をもって代えさせていただきます。応募方法は、コピーをとるか、メモ用紙に解答と学籍番号(中・高は学年とクラス)と氏名を明記して投函してください。

締め切りは12月17日(金)。1人1応募に限ります。前回のクロスワードパズルには、339人の応募があり、厳正に抽選してQUOカードを50名様にお送りしました。ご応募ありがとうございました。

※クロスワードパズルは今回で終わります。

答え



学籍番号
(学年・クラス)

氏名

縦のヒント

- 寒い季節。○○。
- 追い詰められた苦しい立場。○○○○。
- 吉日に宝くじを買う。
- 日本の防衛体制の基本「専○○防衛」
- ・米・トウモロコシは、世界三大穀物と呼ばれます。
- 「右○○左○○」
- 「頭脳明晰・○○○○端麗」
- 「○○が転けてもおかしい年頃」
- 12月13日は「○○○○の日」です。1910年12月13日、鈴木梅太郎博士が「○○○○B1(オリザニン)」の発見を発表したそうです。
- 12月14日は「○○○○○○の日」です。1911(明治44)年、ノルウェーの探検家・アムンゼンらが人類で初めて○○○○○点に到達したそうです。
- 細血管
- 魚は○○で呼吸します。

(1) (A)	(3)			(8) (B)	(10)	
(C)			(6) (D)		『カギ』	
	(E) 『カギ』	(5)			(F)	(11)
(2) (G)				(9) (H)		
		(I)	(7)			
(J)	(4)		(K) 『カギ』			(12)
(L) 『カギ』						

横のヒント

- 12月13日は「○○○○の日」です。1874年(明治7年)に「○○○○の場合は、前産を兄姉と定む」という太政官布告が出されたのを記念してもうけられたそうです。
- あの人は、ほら吹きだから○○○半分で聞いたほうがよいよ。
- 天上天下○○我独尊
- 気持ちが悪くて、吐き気がすること。○○○。
- 1702年12月14日。大石内蔵助が率いる○○○浪士(四十七士)が吉良上野介邸討ち入りをを行い、主君の仇討ちを成し遂げました。
- 度胸があること「○○がすわっている」
- 会社に行かずに在宅○○○をしています。
- 「無○○○息災」
- 大きな魚を釣った時に作ります。○○○○。
- 子○○寅卯辰巳午未申酉戌亥
- 炎症部が化膿して生じる黄白色の粘液。○○。
- 『横(E)』の話は「○○○○○○○」として有名です。

クラブ活動の記録(大学)

★体育系クラブ★

■バスケットボール部(男子)

○関西学生リーグ(9/4~10/24各大学体育館他)1部1勝13敗=56-85.54-70天理大、76-80.60-95京産大、64-93.68-71立命大、57-74.56-73関西大、54-91.55-75関学大、56-72.48-71同大、72-66.61-80大商大 入替戦:48-61.56-70近大※2部降格

■硬式野球部

○阪神大学秋季リーグ(8/28~10/24万博記念公園球場他)1部4位:5勝8敗1分(勝ち点2)3-3.4-3.1-6.2-1天理大、1-4.1-0.0-3関国大、0-1.1-6関外大、3-5.3-12大體大、3-0.2-7.12-2帝塚大

■バレーボール部

○関西連盟秋季リーグ(9/12~10/25各大学体育館)1部9勝1敗:優勝【通常リーグ】1-3甲南大、3-2近畿大、3-0関学大、3-2立命大、3-0大商大、3-1大體大、3-0龍谷大【上位リーグ】3-1近畿大、3-1大商大、3-0大體大

■サッカー部

○関西学生リーグ・後期(9/25~11/28太陽が丘陵上競技場)1部10位:2勝4敗3分(勝ち点9)3-4立命大、1-1近大、4-4びわこ大、1-6阪南大、0-2関院大、1-6同大、2-2桃院大、1-0甲南大、1-0関国大

■アメリカンフットボール部

○関西学生リーグ(9/4~11/6EXPO FLASH FIELD他)Div II(2部Bブロック優勝):5勝 10-7追院大、27-7和歌山大、37-0京織大、23-6大院大、14-6京産大

■スキー競技部

○天橋立ローラースキー大会(9/25~26京都府宮津市世屋高原)【成年男子5km】35位/58名中 タイム・28' 50" 10小林政伸(交通機械1回) ○全関西サマージャンプ大会(10/11~12妙高高原赤倉ジャンツェ)【スペシャルジャンプ】植田康孝(文化コミ3回)22位/25名1本目22.0m・2本目23.5m ▽栗本貴啓(スポーツ2回)19位/21名1本目25.5m・2本目25.0m ▽芝野晃太郎(経済1回)15位/25名1本目29.5m・2本目29.5m ▽響場佳広(電子情報通信1回)25位/25名1本目18.0m・2本目21.0m【コンパインド】植田15位/25名、栗本22位/25名、芝野14位/25名、響場21位/25名○秋季季節外クロスカントリー競技大会(10/24グリーンピア三木特設会場)【成年男子アルペンの部】6位/21' 27" 井上智品(スポーツ1回)

■柔道部

○関西学生体重別団体優勝大会(9/4岸和田市総合体育館)【団体】:1回戦2(代表戦勝)-2関西大・2回戦1-3近畿大 ※全国大会出場決定○関西学生体重別選手権(9/5岸和田市総合体育館)【個人戦】-66kg級準優勝:近藤光太郎(経済3回)※全国大会出場決定○全日本ジュニア選手権(9/18~19埼玉県立武道館)【個人戦】1回戦敗退:脇阪博也(スポーツ1回) ○第65回全国国民体育大会(10/2~3サウンドハウス・スポーツセンター)3回戦敗退:京都府選抜代表 柴田大地(スポーツ3回)0-4千葉県代表、2回戦敗退:香川県選抜代表 木下貴允(経済2回)0-4宮崎県代表○全日本学生体重別選手権大会(10/9~10日本武道館)2回戦敗退:近藤

■陸上競技部

○第72回関西学生対校駅伝:予選会(9/30大津市皇子山総合運動公園陸上競技場)【総合順位】17校中16位(但し、完走者が8名以上に限る)総合タイム4:37' 55" 88【個人タイム】31' 30" 41藤田悠平(生活3回)学連本戦メンバーに選ばれる。

■バドミントン部

○西日本学生大会(8/25~9/2山口県維新百年記念公園)【男子ダブルス】4回戦敗退:北原克洋(経営4回)・戸田晋太郎(経済1回)組、3回戦敗退:大西優貴(経済1回)・和田崇志(スポーツ1回)組、棕本雅哉(機械2回)・石原準也(経営1回)組、寺村拓人(電子情報通信2回)・上原匠平(経済1回)組【男子シングルス】3回戦敗退:大西、小西亮平(経済4回)、戸田、棕本、2回戦敗退:横川達也(都市創造1回)、溝口将生(経済3回)、辻本和央(経営1回)、山尾拓平(経済1回)、上原○関西学生秋季リーグ(9/3~28大阪府中央体育館)【男子】3部2位/6校4勝1敗:5-0佛教大、3-2関外大、3-1神戸大、0-5神院大、4-1大體大、入れ替え戦:0-3大阪大=3部残留【女子】4部Bブロック2位/6校4勝1敗:4-1大阪大、3-2京外大、1-3大國大、4-1大市大、4-1兵庫大、上位決定戦:1-3和歌山大=4部残留

■空手道部

○第2回関西学生オープントーナメント(9/5近畿大学記念体育館)【男子

ジュニアクラス】3回戦敗退:杉本一平(建築環境1回)【男子シニアクラス】1回戦敗退:山下諒(経営3回)、小寺啓太(経済2回)、福田万之(機械工1回)、中田慎太郎(生活1回)、古川尚(経済3回)、平川真司(経営2回)【男子エクセレントクラス】2回戦敗退:田代大周(経済1回)、1回戦敗退:榊田駿介(スポーツ2回)【女子シニアクラス】優勝:小寺希(経済2回)、3回戦敗退:澤村那奈(経済2回)【女子エクセレントクラス】2回戦敗退:森本奈美(建築環境1回)、1回戦敗退:豊田真論(経営2回)、勝岡未来(スポーツ1回) ○第53回全関西大学選手権(10/11大阪商業大学総合体育館)【男子団体】1回戦敗退:1回戦=0-5関西大、敗者復活戦:4-1大體大【女子団体】2回戦敗退:1回戦=3-0佛教大、2回戦:1-2近畿大、敗者復活戦:2-1関外大

■少林寺拳法部

【四段 合格】森田賢吾(交通機械4回)・貴代阿友美(経済3回)
○東大阪大会(10/24八戸ノ里アリーナ)

【男子有段の部】

1位:真鍋佑輔(経営2回)-田淵雅敏(スポーツ1回)組
3位:井本達也(機械工1回)-森重雅仁(情報システム3回)組

【段外の部】

1位:山本朋幸(経済1回)-大角佳(経済1回)組
2位:村岡和哉(文化1回)-舟川涼平(経営1回)組

【男子有段単独の部】1位:真鍋・2位:田淵

【男子単独段外の部】1位:山本・2位:大角・3位:村岡

【女子有段の部】1位:鳥越景子(スポーツ3回)-西嶋梓(スポーツ2回)組

【女子有段単独の部】1位:鳥越・2位:上野美咲(スポーツ1回)

○関西学生新人大会(10/23舞洲アリーナ)

【男子段外の部】1位:山本-大角組

【男子単独有段の部】2位:松本尚也(建築環境デザイン2回)

【男子三段以上の部】6位:真鍋-田淵組

【女子二段以上の部】2位:赤木優美(スポーツ2回)-貴代組

■弓道部

○大阪府学生選手権(5/16大阪城弓道場)【男子個人】準優勝:武田直也(経済1回)○全日本学生選手権(7/11大阪大学弓道場)【個人】予選通過者:男子=西川諒次(電子情報通信2回)武田直也(経済1回)、女子=津張真奈美(経営4回)○全日本学生選手権決勝(8/10~12スポーツプラザ)【個人】予選敗退:男子=西川、武田、女子=津張○関西女子学生リーグ戦(9/19~11/14大阪産業大学弓道場他)6部Aブロック:2勝=47-28兵庫県大姫支、39-25京府医大○関西男子学生リーグ戦(9/19~11/14大阪産業大学弓道場他)2部Aブロック:2勝2敗=101-104和山、103-125京橋大、123-106同大、110-104佛教大※2部残留決定

■ゴルフ部

○関西学生選手権(8/3~5KOMACC)31位タイ:238(81.77.80)松田好司(経済1回)、39位タイ:241(75.81.85)林貴映(経済4回)、39位タイ:241(78.83.80)福岡嵩啓(流通4回)、61位タイ:167(86.81)松田聖也(経済2回)、84位タイ:178(98.80)杉本晃行(経済3回)○関西女子学生選手権(8/3~5KOMACC)28位タイ:162(82.80)小猿裕子(スポ健2回)、35位タイ:169(88.81)田中蘭子(スポ健2回)○関西学生秋季2・3部学校対抗戦(9/2~3日野GC)初日:302(3位/13校・上位8校予選通過)2日302(3位/8校:2部3位)○関西学生男子秋季新人戦(10/12タイガースGC)2位:76(33.43)小西祥平(経済1回)22位タイ:85(39.46)阪本貴之(経営1回)44位:96(47.49)石中知人(スポ健2回)※小西が来年度関西学生男子連盟杯予選出場権獲得○関西学生女子月例大会(9/29奈良柳生CC)優勝:79(39.40)田中※関西学生女子会長杯出場権獲得

■準硬式野球部

○西部6大学秋季リーグ(8/27~9/29伊丹SC他)5位3勝6敗1分=1勝1敗大手大、1勝1敗桃院大、1勝1分奈教大、2敗摂南大、2敗京産大

■サイクリング部

○全日本学生選手権自転車競技大会(7/3~4長野県かりがね自転車競技場)【ケイリン予選】4位/7人【ケイリン敗者復活戦】3位/5人:藤村俊之(交通機械3回)【スクラッチ予選3組】7位/14人飼持草(交通機械4回)○文部科学大臣杯全日本大学対抗選手権自転車競技大会(8/26~29青森県八戸市)【男子】26位/39人中・伊勢洋人(スポーツ3回)○全日本実業団サイクルードレースin加東(9/5播磨中央公園内特設コース)【BR-1】3位/60人・伊勢○日本学生ロードレースカップシリーズ第6戦立命館R(9/20立

命館びわこ特設コース【男子】5位/11人(リタイア数を除く)・伊勢

■自動車部

【三浦愛(機械工3回)】○MAX challeng 猪名川 Rd4(7/3~4猪名川サーキット)決勝リタイア・予選7位・公式予選4位/出走数11台○鈴鹿選手権 Rd4(7/16~18鈴鹿サーキット)ファイナル6位・予選7位・公式予選3位/出走数31台○鈴鹿選手権 Rd5(三重)(8/13~15鈴鹿サーキット)ファイナル3位/予選7位/公式予選6位/出走数49台

■テコンドー部

○リンクスフェスティバル(8/22いきいきランド交野)【一般男子初級】+80.01kg級3位:筒井公平(文化コミュニケーション1回)、63.01-68.00kg級3位:牛窪弘志(経済2回)、58.01-63.00kg級優勝:劉軍前(文化コミュニケーション2回)、3位:杉森淳(流通2回)、-54.0kg級2位:横井智行(文化コミュニケーション2回)、54.01-58.00kg級3位:大橋和真(機械工2回)

○全日本選手権西日本地区大会(9/26大阪産業大学体育館)【一般男子】-87kg級優勝:筒井、2位:前山達郎(経済1回)※全日本テコンドー選手権大会出場権獲得○全日本選手権西日本地区大会(10/10兵庫県立武道館)【一般男子初級】-63kg級3位:小森悠司(文化4回)※全日本学生テコンドー選手権大会出場権獲得

■アーチェリー部

○千島杯競技会(9/12交野市総合体育施設星ふる広場)【Aフライト】50m311点・30m301点:松井聡之(情報システム3回)50m293点・30m301点:楠真司(交通機械1回)【Bフライト】50m273点・30m289点:山口貴之(機械工3回)50m255点・30m253点:和田圭介(情報システム3回)【Cフライト】50m202点・30m261点:南山達也(電子情報通信2回)50m216点・30m413点:松浪直樹(情報システム2回)【30m W】30m250点・30m275点:岡村真(交通機械1回)30m158点・30m220点:寺内和磨(生活1回)30m179点・30m241点:大植和也(電子情報通信1回)30m251点・30m267点:清川龍吾(経済1回)30m279点・30m240点:真辺憲亮(生活1回)30m230点・30m210点:中豊暢(機械工1回)○大阪府選手権(9/20服部緑地公園陸上競技場)【シングル】90m256点・70m254点・50m275点・30m325点:合計1120点竹中(情報システム3回)▽90m259点・70m300点・50m264点・30m327点:合計1150点松井▽90m157点・70m204点・50m216点・30m243点:合計820点松浪▽90m239点・70m275点・50m285点・30m327点:合計1126点楠【30mW】30m252点・30m269点:合計521点寺内▽30m281点・30m290点:合計571点清川▽30m276点・30m243点:合計519点真辺▽30m255点・30m240点:合計495点中

■硬式庭球部

○関西学生選手権本戦(8/8~16江坂テニスセンター)【シングルス・女子】ベスト16:榎田舞(スポーツ3回)・ベスト32:柳瀬洋子(流通2回)・ベスト64:早瀬楓(文化コミ1回)【ダブルス・女子】ベスト16:榎田・鈴木麻友(文化コミ1回)組○中国選手権(8/16~22キンビパレツジ周南庭球場)【シングルス・女子】ベスト8:柳瀬・ベスト32:山口藍(スポーツ2回)

○全日本学生選手権(8/26~9/5有明テニスの森公園)【シングルス・女子】ベスト32:榎田・ベスト64:早瀬○第74回東北オープン選手権(8/29~9/5泉パークタウンTC)【シングルス・女子】ベスト16:鈴木○JPTA能登国際女子オープン(9/5~12藤波運動公園)【シングルス・女子】(予選)2回戦敗退:鈴木、1回戦敗退:早瀬○関西大学対抗リーグ【男子】(9/14~25各大学テニスコート)4勝1敗:5-4滋賀大、6-3大関大、6-3大阪大、4-5天理大、5-4京都大 入替戦:5-0神戸大(途中打ち切)※3部昇格○関西大学対抗リーグ【女子】(9/14~25各大学テニスコート)5勝:5-0神戸大、5-0龍谷大、5-0京都大、5-0大関大、5-0大阪大 入替戦:3-0京産大(途中打ち切)※3部昇格○東レ・パン・パシフィック・オープン(9/24~10/2有明テニスの森公園コート)奈良くるみ(スポーツ1回)【本戦】1回戦敗退(ベスト128):1-2ヤロスラワ・シュウェドワ(KAZ)○HP JAPAN WOMEN'S OPEN TENNIS(10/9~17鞆テニスセンター)奈良【本戦】シングルス1回戦敗退(ベスト32):0-2マリア・キリレンコ(ロシア)、ダブルス1回戦敗退(ベスト16):0-2(イタリア&スロバキア)○韓国全国体育大会(10/4~13昌原市立テニス場)【女子シングルス】優勝:朴イェジン(流通2回)

■ソフトボール部

○関西大学ソフトボール選手権大会(8/6~9福岡県ひびきグラウンド)ベスト16:9-4沖際大、1-2立命大

■男子ラクロス部

○関西学生ラクロスリーグ戦(8/14~11/3舞洲運動場他)2部リーグ3勝4敗:6-4京工繊大、3-16関西大、2-11神戸大、7-3大経大、3-10甲南大、6-10近大、7-6神学大※2部残留

★文化会クラブ★

■茶華道部

○学生茶会(7/18生國魂神社)を実施※参加校:大阪府立大手前高等学校・中学校

■吹奏楽部

○秋の交通安全運動市民大会(9/30大東市総合文化センターサティールホール)【演奏曲目】ペッパー警部、愛を込めて花束を、キャッツアイ、ちびまる子ちゃんメドレー、勇気100%

■創作文学研究部

○関西コミティア37(10/17OMMビルABホール)に参加

■学生健康保険委員会

○朝食キャンペーン(6/28~7/16奥田食堂)※期間中利用者:延べ300人程度

■テクノフリーク部

○ロボコン12(8/7OCTものづくり館)(大会参加者数48名、大阪産業大学は9台出場)【SRC部門1.8kg超級】ベスト8:「ヤマピーエ」【SRC(2×2)部門1.8kg以下級】優勝:「アルテリズム」(大産大)



クラブ・ゼミ・サークル及びグループの
みなさんへ。

団体キャンペーン実施中!!

今シーズンのSki&Snow Board TOUR(信州)

10名以上の団体の幹事さんは、なんと半額!!

例えば、ひとり20,000円のツアーに10名で申し込んだ場合……

(20,000円 × 9名 = 180,000円) + (幹事さん半額の10,000円) = 合計 190,000円

お申込み期限 2011年1月21日(金)まで

OSUトラベルセンター

TEL 072-870-1601

営業時間 9:30-17:30(土日祭日は休み)

※春休みも営業します。



■対象ツアー4社■

ラド観光株式会社

マイウェイツアーズ

株式会社 オリオンツアー

サンシャインツアー

キャンパスセラピー

⑩

のっけから、妙な題名で申し訳ありません。今回は少しばかり奇妙な症状の話です。普通は目の前のものは見えているはずなんですが、半側空間無視というのは左側の半分が見えてないという症状です。例えば目の前に、2人の人が左右に立っているとしましょう。右側の人は見えているのですが、左には誰もいないと言い張るんです。視覚系に全く問題はありません。一体全体どうしたことでしょう？ 見えているのに見えないとは……。でも、もし左側の人が激しく手を振ると「あ、そこに居たの」と分かります。不思議な話でしょ。実はこの症状、それほど珍しいものではありません。脳梗塞は大抵の人が知ってますよね。脳の血管が詰まってしまう病気ですが、先ほどからの不思議な症状は、右脳の脳梗塞患者の3分の1くらいに見られる症状なんです。

ぼくが駆け出しの頃に救急で診た中年の女性の場合。彼女は脳梗塞で倒れ救急車で病院に運ばれてきましたが、まもなく意識を取り戻しました。よほど身だしなみに気を使う人らしく「家族が来るので手鏡を貸してくださいませんか」と言われたのでぼくが手鏡とクンを手渡しあげるとベッドの上でコンパクトを開いて化粧を始めたの



毎度おなじみのイギリスの田舎町シリーズです。今回は「ライ」という英国で一番可愛らしいとされている町です。

半側空間無視

ですが、何か変なんです。最初分からなかったのですが、よく見ると右の眉はキリリと書いてあるのに左の眉はぼやけているし、口紅も右半分しか塗ってません。おまけに頭は右側は丁寧にクシが入っているのに、左はボサボサなんです。びっくり仰天して先輩に聞くと、「左半側空間無視」という症状で右半球の脳梗塞ではありふれた症状とのことでした。大抵一過性で治るのですが、初めて見たときは驚きます。

見えているのに見えてないとは一体、脳ではどんなことが起こっているのでしょう

う？ ある学者が次のような面白い説明をしています。視野についてですが、右側の情報は左脳、左側の情報は右脳に入ります。右脳と左脳には違いがあって、左脳は言語など論理的なものに特化していて、その代償に融通が効き難いという欠点があります。一方、右脳はかなり融通が効きます。たとえば左側に見える情報は自然に右脳に入りますが、同時に右側に何かがあるか眼球を動かしたり顔を動かしたりすることで右脳は左右両方向に注意を払っています。これに対して左脳は右側の情報が入ってきたら認識しますが、このとき左側には注意を払いません。左側を無視してしまいます。だから右脳がやられてしまうと左脳しか残らないので、左側が無視されてしまうことになります。要するにサーチライトと考えてみると分かりやすいんです。右脳は左右両側を照らすタイプの融通の効くタイプ、左脳は右側半分しか照らさない融通の効かないタイプのサーチライトと考えれば、両側を照らす右脳が故障しちゃうと左脳だけになるでしょ、そうすると右側しかサーチライトは照らさない。ということは左側は薄暗いままでしょ。そうなるって薄暗い中で人がじっと立っていても気がつきません。でもこの人が激しく手を振ると「あ、居たのか」と分かるようなものなんです。左側半側空間無視がうまく説明出来てると思いませんか？ 一つの仮説ですけど、面白いでしょ。

文化コミュニケーション学科教授
ながわ中島クリニック院長
中川 晶

編集後記

阪駒祭は、あいにくの雨にもかかわらず盛り上がりしました。今年は「エコ学園祭」。自然を守り、愛することをテーマにした展示なども人気を博しました。森・川・田んぼプロジェクトの水槽展示には子どもたちが熱心に覗き込んでいました。参加者や裏方を支えた実行委員の皆さんはご苦労様でした。最後のダンスパーティーは雨で体育館開催でしたが、例年通り参加者全員の笑顔が飛び跳ねたそうです。来年も素晴らしい学園祭になればいいね▽10月下旬の学園祭の時期にも厳しい表情で就職活動が続いている大学4年生たちが相当数いました。10月1日時点の大学生就職内定率は、過去最低の57.6%であることが分かりました。文部科学省などの調査結果です。就職氷河期と言われた2000年を大きく下回っています。特に理系や女子学生が苦戦しているようです。大産大の4年生も同様の状況でしょう。ただ、この現状は大学生だけを苦しめるにまかせているわけではありません。早速、産学で大学4年生の就職支援の動きが出てきました。こ

れまで4年生の就職支援活動を10月で打ち切っていた就職関係会社が来春まで活動を延長することを決めました。リクルートが12月から全国で合同企業説明会を開催するのをはじめ、学情とパソナなどは春までに1万人に就職体験先を紹介します。もちろん大学も手厚い支援体制を敷いています。就職情報会社の専門家は「例年最終的な就職内定率(4月1日現在)は10月1日時点の数字から30ポイントほど上がる」と話しています。希望はある。希望に向かって最後までがんばろう▽NeOSU 今月号は大産大「熱中人」列伝の特集をしました。勉強やクラブで熱中している学生は多数いますが、ちょっと違った分野で熱中している3人を取材しました。虫の世界に魅せられた山田翔大さんは虫の採集から写真撮影へと興味は広がり、自ら昆虫図鑑も作成しているそうです。大学キャンパス近くの鍋田川で胴長靴姿でカニやドジョウを取っている姿は幸せいっぱい。何事でも熱中する人の姿は美しいと思います。(編集長・山名康弘)

おわび NeOSU 5号(2009年7月号)5ページで「川合大輔さん」とあるのは「河合大輔さん」の誤りでした。また、12号(2010年9月号)学長就任インタビューで「花田良助さん」とあるのは「花田良介さん」の誤りでした。ともにおわびします。